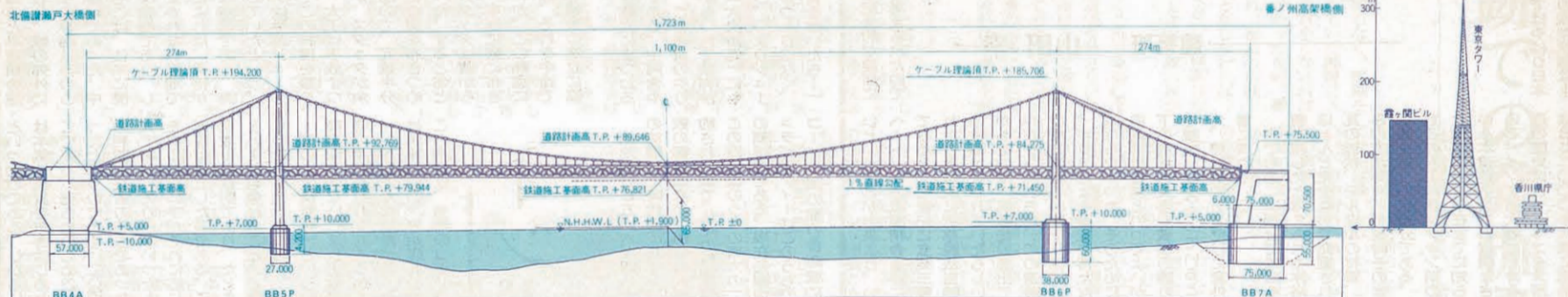
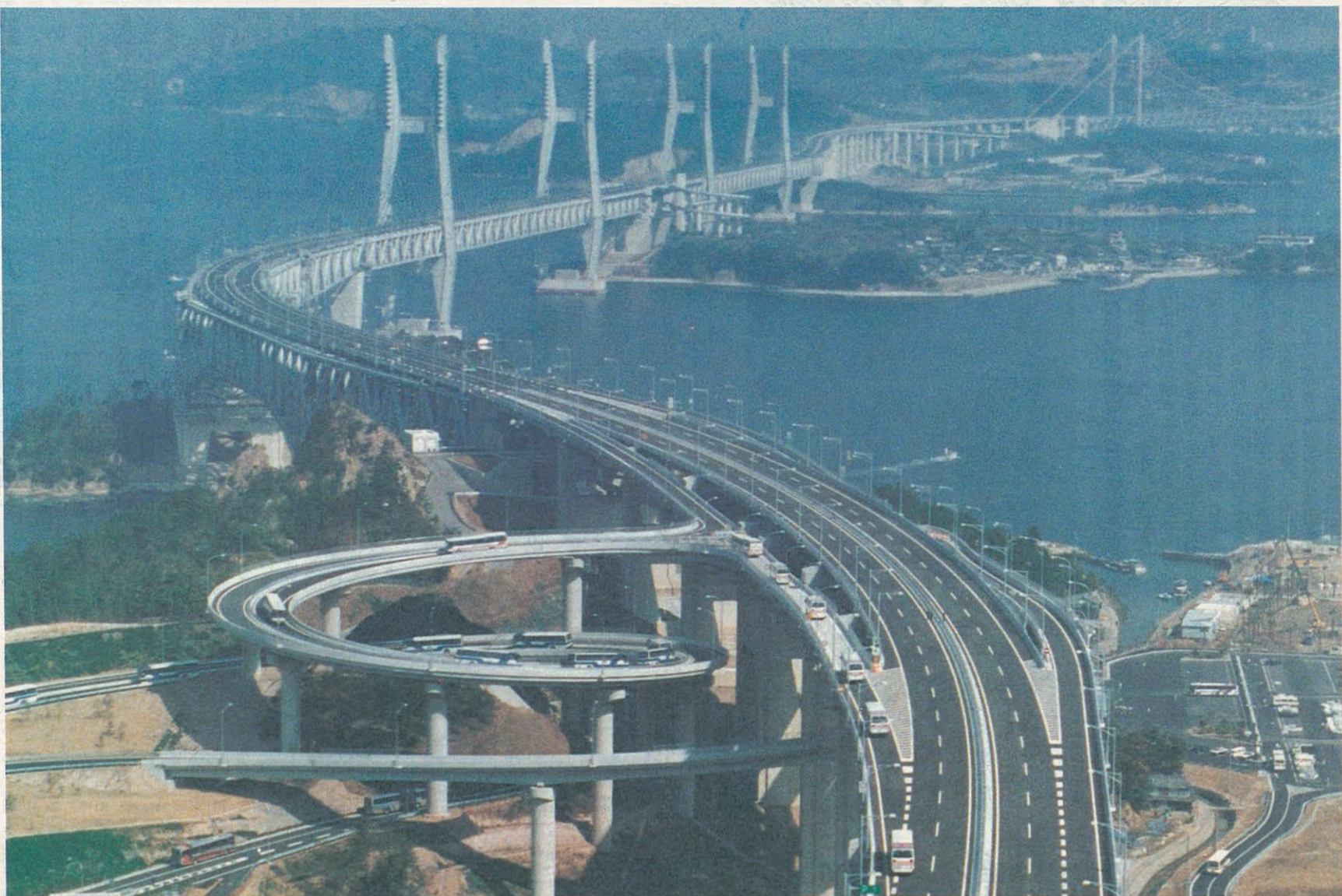


与島付近から岡山側を望む瀬戸大橋（写真）と南備瀬戸大橋の断面図



緑の下の力持ち

谷口 敬一郎

天を突く巨大な主塔、直径一桁を越すメイン・ケーブル、幅員二十五
分の路面一杯に流れる車の列、ばく進するスマートな列車。四月十日、
本州・四国連絡橋見島―坂出ルート開通の前夜には、このような映像や
写真が連日のように溢れていました。

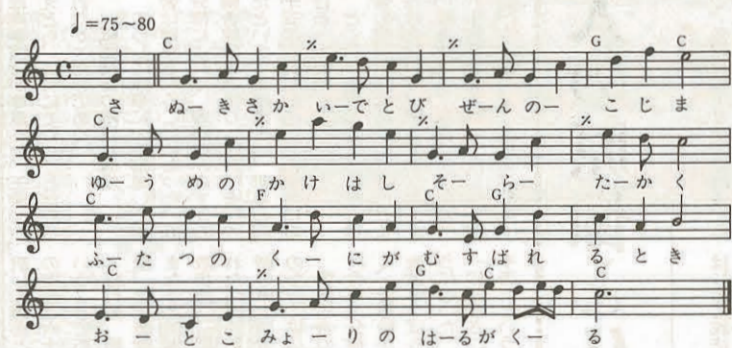
しかし、あの穏やかな瀬戸の海の水面下で、数万トンに及ぶ鋼鉄の橋を、
しっかりと支えている巨大な構造物や基礎の地盤に思いを馳せる人はほ
とんどなかったことでしょう。このたび、「関西大学通信」の紙面に本四
橋をとりあげるといふことなので、この機会に緑の下の力持ちともい
べき下部構造を紹介しておきましょう。掲載の図は、ルート中、最大の
吊橋である南備瀬戸大橋の断面図です。

このプロジェクトが着工されたのは昭和五十三年十月、完成までに九
年半を要したわけですが、この中六年間は水面下の作業で、海上に構造
物が姿を現わして、われわれの目に触れるようになったのはついこの前
のことです。このように大きな橋の場合、基礎工事がいかに大切で、長
い年月を要するかが分かって頂けるとは思います。なにか人生や勉学と一
脈相通するような気がします。

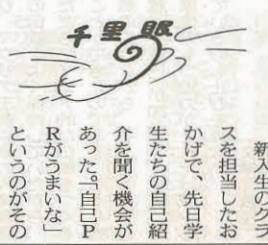
Civil Engineering (土木工学) は Military Engineering の対語で、
もともと文明工学とか社会工学ともいふべきですが、人間生活が一層快
適になるように、社会の緑の下の力持ち的な分野を受け持っている工学
です。
左の詩は、私とともに海底発破や基礎工事に関係した仲間達に、これ
までの労苦をねぎらうと共に、完工を祝福して贈ったものです。
畏友社会学部石川啓教授が作曲の華を添えて下さいました。紙面を借
りて厚く御礼申し上げます。
(工学部教授)

本四架橋 賛歌

作詞 谷口敬一郎
作曲 石川 啓
昭和六十三年一月



- 一 讃岐坂出と備前の見島
夢のかけ橋 空高く
二つの国が結ばれるとき
男冥利の春がくる
- 二 苦節十年 血と汗 涙
雪と嵐に悩まされ
引き裂く潮に よく鍛われた
今はすべてが夢のあと
- 三 発破・しゅんせつ 海底深く
ケーソン敷設に息つめて
モルタル打設に夜も日もついで
橋桁通れば 陸つづき
- 四 日本の英知 ここに集めて
世界に冠たり新技術
人の力と和と技が
備讃の海に花咲いた



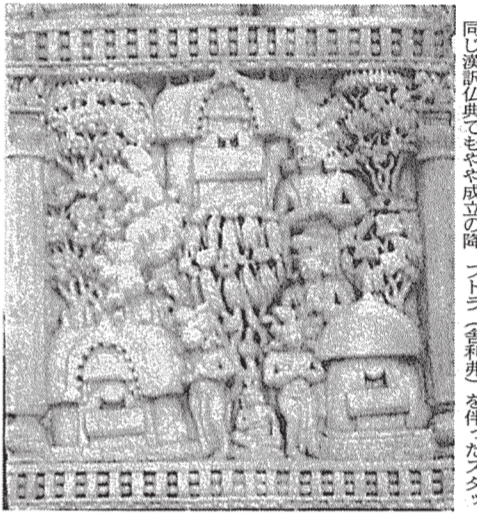
新入生のクラ
スを担当したお
かけて、先日学
生たちの自己紹
介を聞く機会が
あった。「自己P
Rがうまいな」
というのがその
ときの印象であ
る。けれども、その印象はな
なか文章力にはつながらないよ
うである。その原因を私なりに
分析してみた▼人が自説への同
調を得るために用いる方法には
四つのものがあるという。第一
は力によって同意を得る方法。
地上げ屋はこの類か。第二は、
利益誘導。政治家がよく用いる
方法であるが、現代社会ではも
っとも有力な方法であるのかも
しれない。第三は、種々のシン
ボルを説得の手段に用いる方法
であり、もっぱら人間の感情に
訴える方法。テレビのコマーシ
ヤルはこの代表例。いま話題の
「DRY戦争」もアサヒのCI
(企業イメージ統合戦略) 導入
に端を発する。最後は、理性的
な言論によって相手を説得する
方法である▼この区分に従え
ば、学生たちの「うまいな」は
第三の方法によるもの。感情に
訴えて共感を得ているのだと勝
手に判断した。その証拠に私の
講義は概ね人気がないのである
：：大学で教えることのできる
のは第四の方法によって自説を
主張することくらいだと考えて
いる私のだが、このような状
態ではそれすら伝えることがで
きない。結局、第四の方法が重
要であるということこそ第三の方
法でまず伝える必要がありそう
である。先日の経験はそんなこ
とを考えさせられる出来事であ
った▼そういえば、関大生たち
の感情に訴える関大のシンボル
とは何だろう。私にはこれだと
言い切れる強力なシンボルがな
い。こんな印象を持つのは私だ
けなのだろうか。(K・T)

漢訳仏典からみた祇園精舎

研究総括 蘭田 香融

一昨年年度から日印共同の祇園精舎(阿含経、卷六、教誨徳と五會論、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百)

祇園精舎の前身は、阿含経(卷六)の「祇園精舎」として記述されている。この精舎は、釈迦牟尼の弟子たちが修行する場所であり、その建築様式や規模は、当時の社会状況を反映している。漢訳仏典には、この精舎の建築に関する詳細な記述があり、それを通じて当時の建築技術や生活様式を知ることができる。また、この精舎の存在が、当時の宗教と社会との関係を示している点も重要なポイントである。



祇園精舎跡(一) 第一門門北西西面

この精舎は、釈迦牟尼の弟子たちが修行する場所であり、その建築様式や規模は、当時の社会状況を反映している。漢訳仏典には、この精舎の建築に関する詳細な記述があり、それを通じて当時の建築技術や生活様式を知ることができる。また、この精舎の存在が、当時の宗教と社会との関係を示している点も重要なポイントである。

の中間報告

この中間報告では、調査の進捗状況や発見された遺物の詳細について報告している。特に、建築構造物の基礎部分や瓦の造り出しが注目されている。また、出土した瓦片の分析結果も紹介されている。



サヘート遺跡伽藍遺址(部分)

この中間報告では、調査の進捗状況や発見された遺物の詳細について報告している。特に、建築構造物の基礎部分や瓦の造り出しが注目されている。また、出土した瓦片の分析結果も紹介されている。

煉瓦造遺構の系譜

建築班 山田 幸一

この系譜では、煉瓦造の建築構造物の歴史や特徴について詳しく解説している。インドや中国の建築様式との比較も行われており、その文化的背景についても触れている。



バームカムのヤクシヤ(マトラー出土、紀元前2世紀) 菩薩立像(同、紀元2世紀)

この系譜では、煉瓦造の建築構造物の歴史や特徴について詳しく解説している。インドや中国の建築様式との比較も行われており、その文化的背景についても触れている。

インド人の原像と仏像の出現

美術班 山岡 泰造

この文章では、インド人の原像と仏像の出現について論じている。仏教の伝播と芸術の発展の関連性を考察し、当時の社会背景を分析している。

祇園精舎跡での発掘調査

派遣調査隊長・考古班 網干 善教

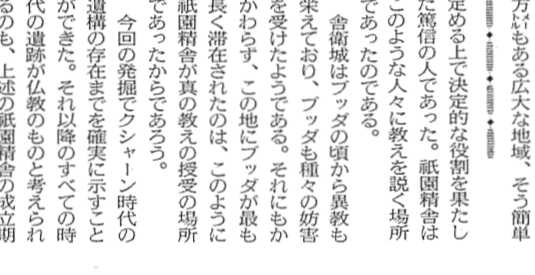
この報告では、祇園精舎跡での発掘調査の具体的な経過と発見について詳しく述べている。調査チームの活動や、出土した重要な遺物の分析結果が中心となっている。

この部分では、調査の背景や目的について説明している。また、調査チームの構成や活動の概要も紹介されている。

ブッダと祇園精舎

文献班 丹治 昭義

この文章では、ブッダと祇園精舎の歴史的背景や宗教的意義について考察している。文献に基づいた分析が行われている。



祇園精舎より南西を望む

この部分では、調査の進捗状況や発見された遺物の詳細について報告している。特に、建築構造物の基礎部分や瓦の造り出しが注目されている。

遺跡とラプティ川旧河道

地理班 末尾 至行

この文章では、遺跡とラプティ川旧河道の地理的関係について詳しく解説している。地形学や地質学に基づいた分析が行われている。

この部分では、調査の背景や目的について説明している。また、調査チームの構成や活動の概要も紹介されている。



祇園精舎より南西を望む

この部分では、調査の進捗状況や発見された遺物の詳細について報告している。特に、建築構造物の基礎部分や瓦の造り出しが注目されている。

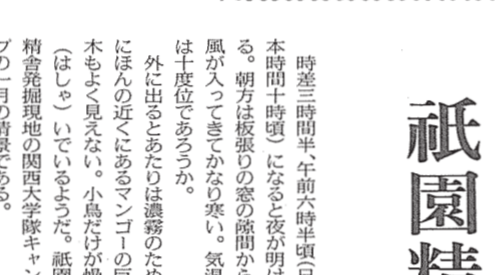
遺跡とラプティ川旧河道

地理班 末尾 至行

この文章では、遺跡とラプティ川旧河道の地理的関係について詳しく解説している。地形学や地質学に基づいた分析が行われている。

第2次調査

この部分では、調査の進捗状況や発見された遺物の詳細について報告している。特に、建築構造物の基礎部分や瓦の造り出しが注目されている。



祇園精舎跡の朝の真白な太陽

この部分では、調査の進捗状況や発見された遺物の詳細について報告している。特に、建築構造物の基礎部分や瓦の造り出しが注目されている。

遺跡とラプティ川旧河道

地理班 末尾 至行

この文章では、遺跡とラプティ川旧河道の地理的関係について詳しく解説している。地形学や地質学に基づいた分析が行われている。

この部分では、調査の背景や目的について説明している。また、調査チームの構成や活動の概要も紹介されている。



祇園精舎より南西を望む

この部分では、調査の進捗状況や発見された遺物の詳細について報告している。特に、建築構造物の基礎部分や瓦の造り出しが注目されている。

遺跡とラプティ川旧河道

地理班 末尾 至行

この文章では、遺跡とラプティ川旧河道の地理的関係について詳しく解説している。地形学や地質学に基づいた分析が行われている。

推薦入学制度

経済学部でも導入 64年度から中部以西を対象

経済学部ではかねてより学部における教育のあり方について、全国的な検討を重ねてきたが、この度の一環として昭和六十四年度から三月に高等専修学校全日本普通卒業生推薦入学制度を導入することになった。

推薦入学制度導入は、経済学部を第一に、経済学部第一、第二、第三、第四、第五の五学部を推薦入学制度が採用される。推薦入学制度は、昭和六十四年度から導入される。推薦入学制度は、経済学部を第一に、経済学部第一、第二、第三、第四、第五の五学部を推薦入学制度が採用される。推薦入学制度は、昭和六十四年度から導入される。

参加者61名が決まる ハワイ夏期英語セミナー

五月九日から十四日までの間、ハワイ開英語セミナーの申込受付が行われ、学部より参加者六十名が決定した。今夏の申し込みは、前年度に比べて、比較的上位な成績を挙げた者が多い。今夏の申し込みは、前年度に比べて、比較的上位な成績を挙げた者が多い。

セミナーは、ハワイ島のホノルルで行われ、六月十日から十四日まで、ハワイ開英語セミナーの申込受付が行われ、学部より参加者六十名が決定した。今夏の申し込みは、前年度に比べて、比較的上位な成績を挙げた者が多い。

日程	テーマ	講師
六月十日(金)	シルクロードの歴史	文部部長 大庭 隆
六月十一日(土)	シルクロードの地理	文部部長 大庭 隆
六月十二日(日)	シルクロードの文化	文部部長 大庭 隆
六月十三日(月)	シルクロードの経済	文部部長 大庭 隆
六月十四日(火)	シルクロードの未来	文部部長 大庭 隆

三連勝へ声援を 第11回総戦合開戦

六月十四日(金)午後九時、第一回総戦合開戦。三連勝を達成し、優勝を争う。応援は、学生、教職員、保護者などから大勢参加する。

絵ハガキ「関西大学」

第七集・第八集を刊行

絵ハガキ「関西大学」第七集、第八集を刊行。内容は、関西大学の風景、建物、人物などを描いた絵ハガキ。第七集は、五月二十日発売、第八集は、六月十日発売。

スポーツセミナー に参加しよう

六月十五日(土)午後九時、スポーツセミナーを開催。内容は、スポーツの歴史、技術、理論など。講師は、スポーツ関係者。会場は、体育館。

末学抄信

六月十日発行の末学抄信。内容は、学部活動の報告、学生生活の紹介など。発行部数は、五百部。

学部通信

法学部：法廷特別講座、司法試験の勉強会など。工学部：工学部特別講座、工学部通信など。

ワールド著書集を購入 ハワイで夏期英語セミナー

ワールド著書集を購入。内容は、世界の文化、歴史、地理など。購入は、図書部。価格は、一冊二百円。

学生福利厚生関係

学生福利厚生関係の改善。内容は、学生生活の充実、健康増進など。実施は、学生生活課。

高槻校地造成に着手

高槻校地の造成に着手。内容は、校地の造成、建物建設など。実施は、建設課。

昭和62年度決算について

副理事長 稲野 治兵衛

昭和62年度決算は、概算で、収入は、一億七千七百九十万円、支出は、一億七千七百九十万円、増減は、ゼロ。

教職員数

職名	予算人員	62年度末人員	増減	61年度末人員	62年度末人員	増減
教授	347	344	△3	338	344	△6
助教授	94	93	△1	93	93	0
専任講師	32	32	0	30	32	2
助手	51	51	0	59	51	△8
副手	2	2	0	2	2	0
計	526	522	△4	522	522	0
高教諭	55	55	0	56	55	△1
中教諭	23	23	0	23	23	0
幼教諭	8	8	0	8	8	0
教職員計	612	608	△4	609	608	△1
事務職員計	442	437	△5	435	437	2

学生数

学部	予算人員	62年度末人員	増減	61年度末人員	62年度末人員	増減
大学院	493	493	0	510	493	△17
学部第1部	19,665	19,672	7	19,164	19,672	508
学部第2部	1,945	1,955	10	1,926	1,955	29
学部計	21,610	21,627	17	21,090	21,627	537
大学計	22,103	22,120	17	21,600	22,120	520
高	1,419	1,420	1	1,417	1,420	3
中	544	545	1	539	545	6
幼	270	273	3	237	273	36
合計	24,336	24,358	22	23,793	24,358	565

高槻校地造成に着手

高槻校地の造成に着手。内容は、校地の造成、建物建設など。実施は、建設課。

学生福利厚生関係

学生福利厚生関係の改善。内容は、学生生活の充実、健康増進など。実施は、学生生活課。

高槻校地造成に着手

高槻校地の造成に着手。内容は、校地の造成、建物建設など。実施は、建設課。

高槻校地造成に着手

高槻校地の造成に着手。内容は、校地の造成、建物建設など。実施は、建設課。

学校法人 関西大学昭和62年度決算について

昭和62年度決算は、概算で、収入は、一億七千七百九十万円、支出は、一億七千七百九十万円、増減は、ゼロ。

教職員数

職名	予算人員	62年度末人員	増減	61年度末人員	62年度末人員	増減
教授	347	344	△3	338	344	△6
助教授	94	93	△1	93	93	0
専任講師	32	32	0	30	32	2
助手	51	51	0	59	51	△8
副手	2	2	0	2	2	0
計	526	522	△4	522	522	0
高教諭	55	55	0	56	55	△1
中教諭	23	23	0	23	23	0
幼教諭	8	8	0	8	8	0
教職員計	612	608	△4	609	608	△1
事務職員計	442	437	△5	435	437	2

学生数

学部	予算人員	62年度末人員	増減	61年度末人員	62年度末人員	増減
大学院	493	493	0	510	493	△17
学部第1部	19,665	19,672	7	19,164	19,672	508
学部第2部	1,945	1,955	10	1,926	1,955	29
学部計	21,610	21,627	17	21,090	21,627	537
大学計	22,103	22,120	17	21,600	22,120	520
高	1,419	1,420	1	1,417	1,420	3
中	544	545	1	539	545	6
幼	270	273	3	237	273	36
合計	24,336	24,358	22	23,793	24,358	565

高槻校地造成に着手

高槻校地の造成に着手。内容は、校地の造成、建物建設など。実施は、建設課。

学生福利厚生関係

学生福利厚生関係の改善。内容は、学生生活の充実、健康増進など。実施は、学生生活課。

高槻校地造成に着手

高槻校地の造成に着手。内容は、校地の造成、建物建設など。実施は、建設課。

昭和62年度 決算書

貸借対照表

昭和63年3月31日

(単位 円)

資産の部	科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定資産	有形固定資産	52,817,261.696	46,629,499.712	6,187,762.984	
	土地	29,887,735.995	25,477,544.319	4,410,191.586	
	建物	6,422,472.122	2,008,444.730	4,414,027.392	
	構築物	12,955,216.828	12,763,236.399	△ 191,980.429	
	構築物	2,099,753.035	2,165,093.632	△ 65,340.597	
	教育研究用機器備品	4,897,352.271	4,694,456.408	202,895.863	
	その他の機器備品	242,369.753	249,718.118	△ 7,348.365	
	図書	3,370,460.377	3,027,859.504	342,600.873	
	車輜	12,471,518	10,207,528	2,263,990	
	建設仮勘定	257,700.000	647,613.000	△ 389,913.000	
	その他の固定資産	22,929,525.791	21,151,354.393	1,777,571.398	
		電話加入権	5,264,565	4,401,265	863,300
		施設利用権	66,810,422	73,036,344	△ 6,225,922
		敷金保証金	1,115,000	900,000	215,000
		長期貸付金	1,748,427.715	1,603,031.250	145,396.465
		年金基金引当特定資産	334,900.731	334,900.731	0
		拡充基金引当特定資産	4,110,776.929	3,840,314.475	270,462.454
		教育研究用機器備品引当特定資産	620,859.513	620,859.513	0
		奨学金基金引当特定資産	30,337.322	26,240.609	4,096.713
		国際交流助成基金引当特定資産	400,000.000	400,000.000	0
学術研究助成基金引当特定資産		200,000.000	200,000.000	0	
教育助成基金引当特定資産		200,000.000	200,000.000	0	
退職給付引当金引当特定資産		5,149,218.810	4,039,888.960	1,109,329.850	
減価償却引当金引当特定資産		570,620.159	570,620.159	0	
校地拡充基金引当特定資産		5,235,745.195	6,242,776.699	△ 1,007,031.504	
厚生施設建設基金引当特定資産	300,000.000	300,000.000	0		
施設整備拡充基金引当特定資産	1,800,000.000	800,000.000	1,000,000.000		
創立100周年記念事業基金引当特定資産	2,154,339.369	1,894,984.988	259,354.381		
流動資産	現金・預金	10,090,909.000	10,554,955.616	△ 464,046.616	
	未収入金	6,430,274.755	7,119,820.305	△ 689,545.550	
	現収収入金	599,963.937	682,032.832	△ 82,068.895	
	短期債権	3,055,460	3,244,879	△ 189,419	
	短期貸付金	855,000	855,000	0	
	有価証券	2,837,055.031	2,941,879.655	△ 104,824.624	
	受取手形	5,493,150	3,926,999	1,566,151	
	前払金	138,556.662	148,920.232	△ 10,363.569	
	借入金	13,055,680	12,001,082	1,054,598	
	その他の流動資産	32,510,672	42,263,442	△ 9,752,770	
	資産の部合計	62,908,171,504	57,584,454,328	5,323,717,176	
負債の部	固定負債	11,655,688.810	10,820,092,500	835,596,290	
	長期借入金	5,463,270,000	5,495,020,000	△ 32,750,000	
	学 校 債	443,200,000	431,000,000	12,200,000	
	長期未払金	800,000,000	0	800,000,000	
	退職給付引当金	5,149,218.810	4,892,382,520	256,836,290	
	流動負債	6,656,716.633	7,523,498.234	△ 866,781.601	
	短期借入金	572,750,000	1,586,000,000	△ 1,013,250,000	
	学 校 債	157,400,000	156,000,000	1,400,000	
	未払金	976,316.378	593,845.385	382,470.993	
	前払金	4,457,694.310	4,583,596,406	△ 125,902,092	
	借入金	13,055,680	12,001,082	1,054,598	
その他の預り金	479,559,265	590,965,421	△ 111,315,156		
負債の部合計	18,512,405,443	18,343,500,814	168,904,629		
基本金の部	41,612,921,749	36,799,436,969	4,813,484,780		
基本金	41,612,921,749	36,799,436,969	4,813,484,780		
特定基本金	5,896,874,495	5,822,315,328	74,559,167		
基本金の部合計	47,509,796,244	42,621,752,297	4,888,043,947		
消費収支差額の部	3,114,030,183	3,090,797,883	23,232,300		
翌年度繰越消費支出超過額	△ 3,114,030,183	△ 3,090,797,883	△ 23,232,300		
消費収支差額の部合計	3,114,030,183	3,090,797,883	23,232,300		
負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計	22,626,835,626	22,434,249,101	192,586,525		

注1 繰越償却額の累計額合計額： 8,566,637,971 円
 注2 徴収不能引当金の合計額： 10,628,000 円
 注3 担保に供されている資産の種類及び額は次のとおりである。
 土地 185,637.40㎡ (公簿 152,530.84㎡) 1,069,026,463 円
 注4 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額： 7,567,264,211 円

消費支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	12,531,329.000	12,392,133.949	139,195.051
教員人件費	7,659,453.000	7,631,662.331	27,790.669
職員人件費	4,162,874.000	4,051,496.644	111,377.356
役員報酬	54,792.000	54,765.840	26.160
退職金	13,651.000	13,650.200	800
退職給付引当金繰入額	640,559.000	640,558.934	66
教育研究経費	4,967,809.000	4,740,435.776	227,373.224
新 規 交 通 費	239,131.000	239,393.725	3,337.275
消 耗 品 費	864,644.000	860,525.861	4,118.139
印刷製本費	296,446.000	298,235.738	8,160.292
研 究 費	25,500.000	25,499.970	30
奨 学 費	8,822.000	8,614.900	207.100
通信運搬費	106,482.000	106,481.939	61
光熱水費	411,631.000	390,368.646	61,262.354
補助金	181,566.000	153,411.324	28,154.676
広告費	1,538.500	1,537.500	1,000
減価償却額	1,238,707.000	1,157,610.693	81,096.307
雑 費	443,628.000	443,627.143	857
除却費	0	0	1,230.000
保険料	26,840.000	24,095.323	2,744.677
業務委託費	561,307.000	560,549.242	757.758
賃借料	420,351.000	410,274.567	10,076.433
租税公課	465.000	422.440	42.560
雑 費	4,039,888.960	3,452,454	241,546
支払手数料・報酬	83,494.000	90,988.562	2,505.048
渉外費	1,584,386	8,700,614	7,116,228
会議・会合費	31,003.000	28,522.137	2,480.863
雑 費	43,623.000	43,623.000	0
管理経費	893,354.000	800,173.389	93,380.611
旅 費 交 通 費	39,359.000	29,030.813	10,328.187
福利厚生費	22,790.000	19,484.415	3,305.585
年金	54,503.000	47,550.176	6,952.824
消耗品費	54,215.000	54,214.323	672
印刷製本費	48,442.000	41,675.529	6,766.471
通信運搬費	26,797.000	9,170.943	17,626.057
光熱水費	45,229.000	29,067.166	16,161.834
補助金	390.000	28.000	362.000
広告費	60,897.000	60,896.219	781
減価償却額	72,897.000	6,963,139	5,965,861
雑 費	49,283.000	49,281.481	1,519
中期計画調査費	5,000.000	0	5,000.000
除却費	663.000	663.000	0
保険料	1,748.000	1,682.789	65.211
業務委託費	275,199.000	233,540.202	41,658.798
賃借料	12,536.000	11,454,330	1,081,670
租税公課	19,293.000	18,521.869	771.131
雑 費	7,611.000	6,421,520	1,189,480
支払手数料・報酬	48,491.000	48,490.287	713
渉外費	18,620.312	18,620.312	688
会議・会合費	17,984.000	17,418,356	565,644
私立大学等経常費補助金返還金	0	60,000	△ 60,000
雑 費	11,666.000	7,545,401	4,120,599
借入金等利息	552,000.000	551,335,124	664,876
借入金利息	516,754.000	516,089,222	664,778
長期未払金利息	35,246.000	35,246.000	98
資産処分差額	11,146.000	24,941,725	△ 13,795,725
建物処分差額	0	1	△ 1
教育研究用機器備品処分差額	6,151.000	20,286,716	△ 14,135,716
その他の機器備品処分差額	498.000	790,770	△ 292,770
図書処分差額	1,000.000	1,062,477	△ 62,477
車輜処分差額	3,497.000	2,801,762	695,238
【徴収不能引当金繰入額】	0	1,802,000	△ 1,802,000
【徴収不能額】	0	322,301	△ 322,301
【予備費】	70,000.000	—	70,000.000
消費支出の部合計	19,025,838.000	18,511,144,265	514,693,735
当年度消費支出超過額	11,900.000	23,232,300	—
前年度繰越消費支出超過額	3,090,798.000	3,090,797,883	—
翌年度繰越消費支出超過額	3,102,698.000	3,114,030,183	—

その他の支出

科 目	予 算	決 算	差 異
貸付金支払支出	0	394,272.500	△ 394,272.500
前期末未払金支払支出	0	583,545.385	△ 583,545.385
借入金支払支出	0	12,001,082	△ 12,001,082
その他の預り金支払支出	0	506,209.538	△ 506,209.538
前払金支払支出	0	138,556.662	△ 138,556.662
貯蔵品購入支出	0	3,063.500	△ 3,063.500
その他の支出	0	32,510.672	△ 32,510.672
【予備費】	0	—	100,000.000
資金支出調整勘定	△ 1,918.000	△ 1,914,936.608	△ 69,229.392
前期末未払金	△ 1,100.000	△ 1,766,016.378	△ 69,229.622
前期末前払金	△ 418.000	△ 148,920.230	1,230
次年度繰越支払資金	6,418.000	6,430,274.755	△ 382,096.755
支出の部合計	34,000.000	35,121,163,381	△ 384,936,381

消費収入の部

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	15,833.000	15,840,294.000	△ 5,656.900
授業料	10,300.000	10,508,554.900	△ 4,562.900
入 学 費	2,570.000	2,577,200.000	△ 140,000
実験・実習料	△ 1,000.000	432,316.750	△ 85,750
維持拡充資金	2,333.000	2,322,233.250	△ 868,250
手数料	2,228.000	2,267,586.710	△ 9,515,710
入学検定料	2,340.000	2,346,421.000	△ 5,701,000
試験料	11.000	1,748.000	100,000
証明手数料	10.000	15,928.710	△ 3,459,710
その他の手数料	4,442.000	3,889.000	△ 455,000
寄 付 金	228.000	313,699.281	△ 89,889,281
特別寄付金	228.000	272,165.481	△ 63,555,481
一般寄付金	0	182,000	△ 182,000
現物寄付金	58.000	41,351,800	△ 26,351,800
補助金	2,350.000	2,665,378.165	117,084,835
国際交流助成基金引当特定資産運用収入	2,642.000	2,484,255.900	119,306,100
地方公共団体補助金	0	375,622,255	△ 2,221,255
学術研究振興資金	0	5,000,000	0
資産運用収入	1,300,000	1,814,652,950	△ 207,812,950
年金基金引当特定資産運用収入	0	18,972,709	△ 972,709
拡充基金引当特定資産運用収入	250.000	270,462.454	△ 17,462,454
教育研究用機器備品引当特定資産運用収入	20.000	33,221,566	678,434
奨学金引当特定資産運用収入	0	1,259,750	20,250
国際交流助成基金引当特定資産運用収入	20.000	29,693,291	△ 5,693,291
学術研究助成基金引当特定資産運用収入	0	14,846,645	△ 2,846,645
教育助成基金引当特定資産運用収入	0	14,846,645	△ 2,846,645
退職給付引当金引当特定資産運用収入	0	230,831,059	△ 12,831,059
減価償却引当金引当特定資産運用収入	0	45,229,243	△ 6,229,243
校地拡充基金引当特定資産運用収入	0	413,969,497	△ 96,969,497
厚生施設建設基金引当特定資産運用収入	0	23,937,895	△ 2,937,895
施設整備拡充基金引当特定資産運用収入	0	66,592,507	△ 10,592,507
創立100周年記念事業基金引当特定資産運用収入	0	74,917,092	△ 17,917,092
受取利息・配当金	250.000	527,390,421	△ 128,390

に聞きました

- ①いま、いちばん行ってみたいところは？
- ②大学在学中に手に入れたいものは？
- ③関大生であることを、どういうときにいちばん感じますか(感じましたか)？

ドイツ旅行と生涯のよき友人を望む
青木 恵

① 私は今年夏、ドイツに旅行し、その間に「ドイツの文化」について学びたい。ドイツは、ヨーロッパの中心地であり、その文化は非常に興味深い。また、ドイツには多くの名産品があり、それらを知りたい。ドイツ旅行は、私の人生にとって大きな経験になると思う。

② 私は、ドイツの文化や歴史についての本や雑誌がほしい。また、ドイツ語の辞書や文法書もほしい。ドイツ語は、ドイツ旅行のために必要だし、将来の職業でも役に立つと思う。

③ 私は、ドイツ旅行の準備中、いろいろな人に会う機会がある。そのときに、一生のよき友人を作りたい。友人は、人生にとって大切な存在だし、一緒に旅行するのもいいと思う。

学んだ中国語を本場で試したい
出原 龍二

① 私は、中国語を学んだ。中国語は、世界で最も話者が多い言語の一つで、非常に面白い。中国語を学ぶことで、中国の文化や歴史についても知ることができ、とても勉強になる。

② 私は、中国語を学んだ。中国語は、世界で最も話者が多い言語の一つで、非常に面白い。中国語を学ぶことで、中国の文化や歴史についても知ることができ、とても勉強になる。

③ 私は、中国語を学んだ。中国語は、世界で最も話者が多い言語の一つで、非常に面白い。中国語を学ぶことで、中国の文化や歴史についても知ることができ、とても勉強になる。

関大生30人に聞きました

- ①いま、いちばん行ってみたいところは？
- ②大学在学中に手に入れたいものは？
- ③関大生であることを、どういうときにいちばん感じますか(感じましたか)？

学力・婚期と相談してアメリカ留学
武田 友利

① 私は、アメリカに留学したい。アメリカは、先進国であり、その文化や教育は非常にレベルが高い。アメリカに留学することで、自分の学力を高め、将来の職業でも役に立つと思う。

② 私は、アメリカに留学したい。アメリカは、先進国であり、その文化や教育は非常にレベルが高い。アメリカに留学することで、自分の学力を高め、将来の職業でも役に立つと思う。

③ 私は、アメリカに留学したい。アメリカは、先進国であり、その文化や教育は非常にレベルが高い。アメリカに留学することで、自分の学力を高め、将来の職業でも役に立つと思う。

誰でも行くような所は行かない
戸田 芳夫

① 私は、誰でも行くような所は行かない。人は、みんな同じ道を行くわけではない。人は、それぞれ自分の道を探すべきで、誰かが行くからといって自分も行くべきではない。

② 私は、誰でも行くような所は行かない。人は、みんな同じ道を行くわけではない。人は、それぞれ自分の道を探すべきで、誰かが行くからといって自分も行くべきではない。

③ 私は、誰でも行くような所は行かない。人は、みんな同じ道を行くわけではない。人は、それぞれ自分の道を探すべきで、誰かが行くからといって自分も行くべきではない。



書物のうちの書物

聖書が図書館にあって誇り、価値あるものだろうか。聖書は「旧約聖書」と「新約聖書」から成っていて、Bibleと呼ばれるが、実は「書物」という意味である。...

聖書は、世界共通の文化遺産

聖書は、世界に共通する偉大な文化遺産であり、その精神文化の形成に大きく知れぬ役割を果たしてきたことを思えば、永遠の古典とされてきたことにも、過去の遺産として大切に扱われてきたことにも、新しい時代にも、新しく人間に語りかける示唆をもった書物です。

世界の聖書

第13回展示によせて

清 木下

この展示は、日本において、日本プロテスタント教会とカトリック教会との共同展覧による公開展覧会として、1988年11月10日から12月10日まで、日本基督教団中央会館(東京都千代田区千代田)で開催される。

聖書は、世界に共通する偉大な文化遺産であり、その精神文化の形成に大きく知れぬ役割を果たしてきたことを思えば、永遠の古典とされてきたことにも、過去の遺産として大切に扱われてきたことにも、新しい時代にも、新しく人間に語りかける示唆をもった書物です。

聖書コレクション

今回の「世界の聖書」展では、図書館蔵書より代表的なものを選り、当時の印刷に使用した...



ベッテルハイム訳「約翰伝福音書」

わすかの活字が聖書とともに本学で大切に扱われてきたことになり、このコレクションの指標は、総合的かつ系統的な収集にある。そのほか、複製本を含めて、キ...

原動力となりました。この展示は、日本において、日本プロテスタント教会とカトリック教会との共同展覧による公開展覧会として、1988年11月10日から12月10日まで、日本基督教団中央会館(東京都千代田区千代田)で開催される。

新刊紹介

文学部教授 宇佐美幸彦著 『ジョージ・グロツス—ヘルリン・タウシストの軌跡—』 (関西大学出版部 五七〇〇円)...

文学部教授 丹治昭義註 『中論釈』 (竹内良知)...

経済学教授 荒井政治 加勢田博 同 『経済発展の新しい見方』 (雄略野郎社 二七〇〇円)...

社会学部教授 佐々木士郎 著 『購買態度の分析』 (関西大学出版部 九五〇〇円)...

社会学部教授 橋本敬造 著 『HSU KUANG-CHI AND ASTRONOMICAL REFORM—The Process of the Chinese Acceptance of Western Astronomy 1629-1633—』 (関西大学出版部 七五〇〇円)...

文学部教授 岡村雄雄編 『戦後教育の歴史構造』 (社会評論社 二六〇〇円)...

社会学部教授 坂井昭夫 著 『日本の軍拡経済』 (青木書店 三〇〇〇円)...

社会学部教授 佐々木士郎 著 『購買態度の分析』 (関西大学出版部 九五〇〇円)...

社会学部教授 橋本敬造 著 『HSU KUANG-CHI AND ASTRONOMICAL REFORM—The Process of the Chinese Acceptance of Western Astronomy 1629-1633—』 (関西大学出版部 七五〇〇円)...

社会学部教授 橋本敬造 著 『HSU KUANG-CHI AND ASTRONOMICAL REFORM—The Process of the Chinese Acceptance of Western Astronomy 1629-1633—』 (関西大学出版部 七五〇〇円)...

文学部教授 宇佐美幸彦著 『ジョージ・グロツス—ヘルリン・タウシストの軌跡—』 (関西大学出版部 五七〇〇円)...

文学部教授 丹治昭義註 『中論釈』 (竹内良知)...

経済学教授 荒井政治 加勢田博 同 『経済発展の新しい見方』 (雄略野郎社 二七〇〇円)...

社会学部教授 佐々木士郎 著 『購買態度の分析』 (関西大学出版部 九五〇〇円)...

社会学部教授 橋本敬造 著 『HSU KUANG-CHI AND ASTRONOMICAL REFORM—The Process of the Chinese Acceptance of Western Astronomy 1629-1633—』 (関西大学出版部 七五〇〇円)...